



西巣鴨幼稚園だより

にしすようでなにしよう？

3月号

令和8年2月20日発行

豊島区立西巣鴨幼稚園

園長併任 後藤 大輔

Nishisugamo-k@city.toshima.ed.jp

『にしすようでいっぱいあそんだね』

園長併任 後藤 大輔

街中で梅や桃の花が鮮やかに咲き始め、春の訪れを感じる季節になりました。

先日の子ども会には多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。本番での発表に向けて、子どもたちは楽しみながら練習を重ね、本番では立派に発表することができました。

今年は自分たちで劇の内容を考えることにも挑戦しました。あらかわ遊園でヤギに服をかじられてしまつた体験をもとに想像を膨らませ、お話を考えました。また、衣装や小道具を作ったり、効果音も考えたりして、まさに自分たちで創ったオリジナルの劇になりました。

「にしすようでなにしよう」は本園の園歌のタイトルですが、谷川俊太郎さんの作詞によるこの歌詞が、子どもたちの世界を見事に表現していて私はとても大好きです。子どもたちの毎日の生活や活動の中で起こることが、そのまま驚きであり、楽しさであり、感動につながります。西巣鴨幼稚園での子どもたちの日々がそうした充実した日々になり、「にしすようでいっぱいあそんだね」となるようにと願い、教職員一同、努めてきました。その教職員の日々の頑張りにも頭が下がる思いです。

西巣鴨幼稚園で2年間過ごしたほし組の子どもたちは3月で幼稚園を修了し、小学校へと進学します。幼稚園の修了おめでとうございます。西巣鴨幼稚園でたくさん成長してきた子どもたちがますます成長し、楽しんで小学校生活を送れるよう願っています。

保護者の皆様には本園の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度で55周年を迎えた西巣鴨幼稚園は、とても残念なことに、次年度は学級編成をしないことになりました。これまで本園を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様をはじめ関係の皆様、子どもたちのために力を尽くしてくださった教職員、子どもたちに関わってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

3月はこのような指導をします

ほしぐみ

- 友達と一緒に活動する中で、互いの良さを認め合い、学級のつながりを深められるようにしていきます。
- 自分自身の成長を感じながら就学への期待をふくらませ、自信をもって修了に向けた活動に取り組んだり、お世話になった人への感謝の気持ちを伝えたりできるようにしていきます。